

ARVC

画像診断

① 心エコー

- ① 大項目：限局性のRV壁運動消失、奇異性壁運動、心室瘤
かつ下記のいずれか1つ

拡張終末期

- ① 傍胸骨長軸像 (PLAX) RVOT (右室流出路) が32mm以上
体表面積補正 (PLAX/BSA) で19mm/m²以上
- ② 傍胸骨短軸像 (PSAX) RVOT (右室流出路) が36mm以上
体表面積補正 (PSAX/BSA) で21mm/m²以上

右室面積変化率 (FAC Fractional Area Change) が33%以下

- ② 小項目：限局性のRV壁運動消失、奇異性壁運動
かつ下記のいずれかの1つ

拡張終末期

- ① PLAX RVOTが29~32mm；体表面積補正 (PLAX/BSA) で16~19mm/m²
- ② PSAX RVOTが32~36mm；体表面積補正 (PSAX/BSA) で18~21mm/m²

右室面積変化率 (FAC Fractional Area Change) が33%~40%

② MRI

- 大項目：限局性のRV壁運動消失、奇異性壁運動 非同期RV収縮
かつ下記のいずれか1つ

RV収縮末期容量/BSA (体表面積) が 男性 110ml/m²以上
女性 100ml/m²以上

RV駆出率が40%以下

- 小項目：限局性のRV壁運動消失、奇異性壁運動、非同期RV収縮
かつ下記のいずれか1つ

RV収縮末期容量/BSA (体表面積) が 男性 100~110ml/m²以上
女性 90~100ml/m²以上

RV駆出率が40~45%以下

③ RV造影 (大項目)

限局性のRV壁運動消失、奇異性壁運動、心室瘤